

令和6年8月9日

自治会長 各位

飯島町長 唐澤 隆
(公印省略)

南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」発表に伴う各種事業等への
対応について（通知）

日ごろは町の行政にご理解ご協力賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、気象庁より南海トラフ地震に関する臨時情報「巨大地震注意」が別添
のとおり発表されました。

つきましては、貴自治会におかれましても当面（2週間）の行事等に際し、下記のと
おり万全の防災対策を講じていただくようお願い申し上げます。

記

1 行事等参加者の安全確保

イベント会場周辺の避難経路を確認いただくとともに参加者の皆様へ周知くだ
さい。また、緊急時に参加者への迅速な情報伝達ができるよう準備するなど、万が
一の事態に備えてください。

別紙「飯島町民の皆さんへ」を参照いただき、必要に応じて活用ください。

2 「巨大地震警戒」が発表された場合について

※ 現時点は「巨大地震注意」であり「巨大地震警戒」ではありません。

今後、気象庁からあらためて「巨大地震警戒」が発表された場合は、速やかに行
事を延期・中止ください。また、避難所に指定されている施設に置かれましては、
避難所開設の準備をお願いいたします。

飯島町役場

代表電話：0265-86-3111

総務課 危機管理係 内線 218, 219

地域創造課 地域係 内線 128, 129

(南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意))

令和 6 年 8 月 8 日
19 時 15 分
気象庁

南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)

本日 (8 日) 16 時 43 分頃に日向灘を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生しました。この地震と南海トラフ地震との関連性について検討した結果、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられます。今後の政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

本日 (8 日) 16 時 43 分頃に日向灘を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生しました。その後の地震活動は活発な状態が続いています。また、ひずみ観測点では、この地震に伴うステップ状の変化が観測されています。

気象庁では、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を臨時に開催し、この地震と南海トラフ地震との関連性について検討しました。

この地震は、西北西・東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で、南海トラフ地震の想定震源域内における陸のプレートとフィリピン海プレートの境界の一部がずれ動いたことにより発生したモーメントマグニチュード 7.0 の地震と評価されました。

過去の世界の大規模地震の統計データでは、1904 年から 2014 年に発生したモーメントマグニチュード 7.0 以上の地震 1,437 事例のうち、その後同じ領域でモーメントマグニチュード 8 クラス以上の地震が発生した事例は、最初の地震の発生から 7 日以内に 6 事例であり、その後の発生頻度は時間とともに減少します。このデータには、平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震 (モーメントマグニチュード 9.0) が発生した 2 日前に、モーメントマグニチュード 7 クラスの地震が発生していた事例が含まれます。世界の事例ではモーメントマグニチュード 7.0 以上の地震発生後に同じ領域で、モーメントマグニチュード 8 クラス以上の地震が 7 日以内に発生する頻度は数百回に 1 回程度となります。

これらのことから、南海トラフ地震の想定震源域では、大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられます。

南海トラフ地震には多様性があり、大規模地震が発生した場合の震源域は、今回の地震の周辺だけにとどまる場合もあれば、南海トラフ全域に及ぶ場合も考えられます。

最大規模の地震が発生した場合、関東地方から九州地方にかけての広い範囲で強い揺れが、また、関東地方から沖縄地方にかけての太平洋沿岸で高い津波が想定されています。

今後の政府や自治体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとってください。

気象庁では、引き続き注意深く南海トラフ沿いの地殻活動の推移を監視します。

※モーメントマグニチュードは、震源断層のずれの規模を精査して得られるマグニチュードです。気象庁が地震情報等で、お知らせしているマグニチュードとは異なる値になる場合があります。

※評価検討会は、従来の東海地域を対象とした地震防災対策強化地域判定会と一体となって検討を行っています。